



デュッセウスの助言に従った。ヘレネの選んだ者が危害を受けたらその者を助けることを、求婚者全員に誓わせたのである。この計略はうまくいった。ヘレネはメネラオスを選んで無事結婚した。

**パリスに連れ去られる** ペレウスとテティスの婚礼が行われた。全ての神々が招待されたが、エリス（不和）だけが招待されなかった。エリスはヘスペリデスの黄金のリンゴをその場に投げ込んだ。これは「不和のリンゴ」として知られる。この最も美しいものに捧げられたリンゴをめぐって、ヘラ、アテナ、アフロディテの間に対立がおこった。誰が最もリンゴにふさわしいか、ゼウスは羊飼いのパリスに決定を委ねた。パリスは、最も美しい女を与えるというアフロディテの約束を気に入って、リンゴを彼女に与えた。そしてパリスはスパルタへ向かった。アフロディテが彼に与えるといった美女を連れ帰るためであった。パリスはヘレネを誘惑した。ヘレネは九歳の娘のヘルミオネを置いて、屋敷の財宝を持ち出し、パリスとともにトロイアへ行った。

**パリスの死後、デイポボスと結婚する** メネラオスはヘレネと財産を取り戻すため、アガメムノンの助けを借りて、遠征軍を編成し、トロイアを攻撃した。トロイア戦争で、パリスはピロクテテスの放った毒矢で殺された。ヘレノスとデイポボスの兄弟が、ヘレネをめぐって争い、デイポボスがヘレネの夫となった。ヘレノスはトロイアから出て行ったが、オデュッセウスがそれを捕らえた。ヘレノスはパラディウムがある限り、トロイアが陥ちないことを予言した。